

人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び

はむらの 教育

アートinはむら展!



6月25日から7月7日にゆとろぎで開催されたアートinはむら展。23回目を迎えた今回は、66人のアーティストが参加し、施設全体において85点の現代美術作品が展示され、1,962人の方々が訪れました。

また、関連した三つのイベントと市内全小学校の4年生404人を対象とした鑑賞教室も開催されました。

三つのイベントには、合計43人が参加し、「対話によるわくわく鑑賞ナイト」、「わくわく鑑賞ツアー」では、出展アーティストと参加者が作品についての感想を述べ合う等の交流を、「ワークショップ～ペーパーアートワークでどうぶつをつくろう～」では、子供たちがいろいろな紙をまらめて、ちぎって、折るなどして、自由な発想で作品を作る姿が見られました。

◀市公式サイト



No. 105

令和6年(2024)
9月1日発行

編集・発行/羽村市教育委員会 〒205-8601 羽村市緑ヶ丘5-2-1 TEL042-555-1111 FAX042-578-0131
市公式サイトURL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/> E-mail:s700000@city.hamura.tokyo.jp

「ゆとろぎ協働事業運営市民の会」活動の様子

～開館 20 周年記念に向けて～



平成18年3月に開館式典を開催し、オープンした羽村市生涯学習センターゆとろぎ。

市民の皆さんの学習・文化活動の場として、音楽や舞台公演、美術作品等の発表と鑑賞の場として、また子供たちの体験学習の場として、年間約20万人の方が訪れています。

「ゆとろぎ」という愛称は、施設の開設時に全国から愛称を公募し、「ゆったりとした穏やかな時間(ゆとり)とくつろげる空間(くつろぎ)」を表す言葉として、約1,700点の応募名称の中から選ばれました。

令和4年7月からは、ネーミングライツにより「プリモホルルゆとろぎ」の愛称となり、変わらず市民の皆さんに親しまれています。

ゆとろぎ協働事業運営市民の会

ゆとろぎは、開館当初から、事業の企画や施設の管理を市民の皆さんと協働で行っていくこととしており、ゆとろぎで行われているコンサートや映画会、美術展、講座など、文化・芸術、学習事業の一部は、市民ボランティア「ゆとろぎ協働事業運営市民の会」(以下、市民の会)の皆さんと協働で企画・運営しています。

市民の会の皆さんが、ゆとろぎで実施したい企画アイデアを持ち寄り協議し、出演者や作家への依頼や調整、周知広報や当日の運営を教育委員会と協働で行い、市民の皆さんに楽しんでいただける文化事業を行っています。

ゆとろぎでの事業企画に携わっている市民の皆さんを、市民の会の活動と合わせて御紹介します。

市民の会には、「学習文化部会」「展示部会」「芸術鑑賞部会」等、各分野の事業を企画する部会があり、市民ボランティアの皆さんは、自分の興味のある部会の活動に参加しています。



▲8月4日に開かれた「沖縄音楽ライブ」の準備の様子

学習文化部会

「ゆとろぎ文学講座」や「ゆとろぎサイエンス講座」などの市民向け講座、「わが街羽村を知るシリーズ」などの講座事業を企画運営しています。



渡辺祐治さん

人権や環境問題に興味があったところ、学習文化部会のメンバーに、興味のある分野や民間企業に勤めていた経験を生かした講座を市民向けに行わないかと声をかけられ、参加するようになりました。

これまで、市内企業を知るシリーズの企画にも携わり、「羽村市にこんな企業があったのか。」と知らなかったこととの出会いを楽しんでいます。

「市民と企業、市民と専門家をつなぐきっかけづくり」がやりがいで、企画のために常に世の中の動きにアンテナを張り、自分自身の勉強にもなっています。

展示部会

現代美術家や羽村市とゆかりのある作家の作品展示を企画運営しています。



古川光昭さん

退職してから地域で活動しようと、図書館ボランティアとして活動していたところ、声をかけられて市民の会に参加しました。

展示部会に入ったものの、アートの知識があつたわけではなく苦労しましたが、携わった企画にたくさんの方が訪れ、感想を頂くことが喜びに変わります。

自分で企画した事業が来てくれた方に楽しんでもらえているか、作品を観ている方の表情を常に気にしています。展示を楽しんだ方と、作品について意見を交わしたり、感じたことを言い合ったり、対話しながら作品への理解を深めることができるのが醍醐味です。

芸術鑑賞部会

音楽や舞台公演などホールでの鑑賞事業や、子どもフェスティバルでの遊びや体験事業を企画運営しています。



井上寛子さん

ゆとりぎが開館する前にあった公民館の時代から、合唱などの音楽サークルで活動していました。

生涯学習センターの建設に向けた市民準備会にも参加し、開館後も市民の会として活動を続けています。自分の活動をゆとりぎで行うだけでなく、自分の好きなことで市民の皆さんに喜んでいただける活動ができること、みんなで一緒に楽しむことが好きです。

自分の企画が皆さんの賛同を得て、開催できたことは感動でした。

アイデアだけでなく、どうしたら実現できるか、市民の会のメンバーや教育委員会と話し合い、協力し合って進めていくことは、苦労もありますがやりがいがあります。

今後の市民の会による企画事業(9月～12月)

- ★津田のぼるの缶ものがたり(9月8日まで開催中)
- ★ゆとりぎ先端テクノロジー講座「生成AIが社会を激変させる…生成AIの種類と社会に与えるインパクト」(9月28日)
- ★ゆとりぎ経済講座「金融篇」(10月6日)
- ★第50期ゆとりぎ美術館「片山憲二 木版画展」(11月～12月)
- ★子どもフェスティバル(11月9日・10日)
- ★ゆとりぎ想ひ出の映画鑑「Shall we ダンス?」(11月16日)
- ★わが街羽村を知るシリーズ出前講座篇(11月24日)
- ★ゆとりぎ身近なサイエンス講座
「家庭における正しい食品衛生管理」(12月14日)
- ★落語体験ワークショップ(12月21日)

ゆとりぎは、令和8年3月に開館式典から20年を迎えるに当たり、来年度は開館20周年として新たな企画を行っていく予定です。

市民の会も、ゆとりぎでの文化・学習事業を一緒に行うメンバーを募集しています。

まずは、ゆとりぎで行われている事業にお越しいただき、ゆとりぎや市民の会の方々との交流をお楽しみください。

展示部会活動の様子



昨年夏に開かれたきくちきさんの絵本原画展では搬入などを行いました。

市民の会は、文化・学習事業企画だけでなく、ゆとりぎのイベント情報紙「イベントガイド」の制作や、公演などの際に受付・案内を行うレセプション、施設利用の方の一時保育、植栽管理など、ゆとりぎの運営や利用される方のサポートを行っています。

これからも、ゆとりぎが学びと交流の拠点として御利用いただけるよう、市民の皆さんと協働していきます。

【問合せ】生涯学習推進課

☎570-0707

「プリモホール ゆとろぎ」から

津田のぼるの缶ものがたり

アンデルセン童話をモチーフにして、全てアルミの空き缶などで作られたお城や塔、人や動物の作品を展示します。

日時：8月28日(水)～9月8日

(日) ※9月2日(月)は休館

午前10時～午後5時

(最終日は午後4時まで)

会場：ゆとろぎ展示室

入場料：無料

★ギャラリートーク

～出展作家による

作品解説～

日時：9月7日(出)

午前11時～正午

対象：どなたでも

定員：40人(先着順)

※要事前申込

会場：ゆとろぎ展示室

参加費：無料



▲ワークショップの作品の一例



◀ギャラリートーク、ワークショップの申込はこちらから

★ワークショップ

「空き缶でおもしろ動物をつくろう！」

日時：9月7日(土)午後2時～4時

対象：小学生 ※小学3年生以下は保護者同伴必須

定員：10人(先着順)

※要事前申込

会場：ゆとろぎ創作室1

参加費：無料

持ち物：アルミのボトル型空き缶2個、アルミのストリート型空き缶3個、アルミのボトル型空き缶のふた2個、軍手、手拭きタオル

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ

アイヌ文化公演

ラマチ ウケシコロ ～魂を受け継ぐ～

「伝統文化交流事業 in ゆとろぎ」では全国各地に伝承されている良質な伝統芸能に身近に接することで、日本文化への理解を深めていただくことや地域の文化振興を図ることを目的としています。

国の重要無形民俗文化財である「アイヌ古式舞踊」を皮切りに、北の大地で受け継がれてきた歌、口承文芸、風習を一つの物語として繰り広げる舞台をお届けします。

日時：11月17日(日)午後2時～(午後1時30分開場)

会場：ゆとろぎ大ホール

定員：854人(全席指定)

入場料：500円

※2歳以下の膝上鑑賞無料

出演：nincup(ニンチュ

ブ・アイヌ文化伝承活動団体)、

矢部優子(ピアニスト・羽村

市出身)

申込方法：

【窓口販売】

ゆとろぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、西多摩新聞社チケットサービス

【インターネット販売】

ゆとろぎインターネットチケットサービス



▲矢部 優子



▲nincup

今回は、北の大地から nincup と羽村市出身のピアニスト矢部優子さんがコラボレーションする特別公演！！



◀ゆとろぎインターネットチケットサービス



▲サロルンリムセ(鶴の舞)



▲クリムセ(弓の舞)

【問合せ】

生涯学習推進課

☎570-0707

誰でも楽しめるスポーツ、ボッチャを始めませんか？

今年は4年に1度のオリンピック・パラリンピックの開催の年。観戦を機に、スポーツに興味をもった方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、パラリンピック競技種目の『ボッチャ』を紹介します。

ボッチャとは…？

赤と青のボールをそれぞれ6球ずつ、投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに近付けるかを競うスポーツです。ルールは簡単で誰でも楽しむことができる一方、投球テクニックや戦術で勝敗が左右する奥深いところに魅力があります。

スポーツ推進課では、ボッチャを普及するため、イベント等を開催しています。



●ボッチャ体験教室

9月14日(土)、11月16日(土)

スポーツ推進委員指導の下、初めてボッチャをする方も試合まで体験できます。また、ボッチャはむら大会に向け、レベルアップも目指せます。時間内であれば、自由に体験できるので、ぜひお越しください。

●ボッチャはむら大会

11月30日(土)

大会上位2チームは、市代表として「東京都町村ボッチャ大会」に出場することができます。

イベントの詳細は、広報はむらや市公式サイトに掲載しますので、確認してください。

※日程は変更する場合があります。

●東児童館事業「わくわくスポーツ」

9月25日(水)

小・中学生を対象に、ボッチャの体験や試合ができます。直接会場にお越しください。



【問合せ】 スポーツ推進課 ☎555-0033

「S&Dスポーツアリーナ羽村」から

便利なサービスを活用しよう！

メールマガジン

毎週金曜日に、メールマガジンを配信しています。新着資料情報、おはなし会や各種イベントの実施予定、その他お知らせを掲載しています。手軽に情報を知ることができますので、ぜひ登録してください。

公式サイト(<https://www.hamura-library.tokyo.jp>)の「メールマガジンの登録はこちら」をクリックすると登録できます。



▲公式サイト

外部ブックポスト

下記の場所に外部ブックポストを設置しています。カウンターに本を直接返すことができない場合は、ぜひ利用してください。

なお、CD、カセットテープ、ビデオテープ、DVD、東京都立図書館や他市からの借用資料やCD、CD-ROM・DVDなどが付属している本や雑誌、リクエストカードは、開館している時間に直接カウンターにお渡しください。

〈外部ブックポストの設置場所および利用可能な時間〉

- JR青梅線羽村駅改札前…………… 24時間(年末年始を除く)
- JR青梅線小作駅改札前…………… 24時間(年末年始を除く)
- 西多摩農協本店前…………… 午前8時から午後9時(年末年始を除く)
- 東児童館…………… 午前9時から午後4時(木曜日、年末年始を除く)
- 羽村市役所庁舎1階ロビー…………… 午前8時半から午後5時15分(開庁時間中)

【問合せ】 図書館 ☎554-2280

「プリモライブラリーはむら」から

受験生の保護者の皆さんへ

羽村市の入学資金融資制度を

活用しましょう

高等学校や大学などに入学する際に要する入学金や入学支度金の融資を市内の金融機関にあつせんし、その融資に対する利子等を全額補助します。

入学資金の調達にお困りの方は、ぜひ相談してください。

融資資金の対象・限度額

●融資資金の対象は、入学手続と同時に学校に入金する入学金(料)と入学支度金です。入学金(料)は施設費を含みます。入学支度金(料)は、制服(体育着などを含む)、教科書などの経費で、学校が指定し年度

内に支払うものが対象となります。(※領収書の提出が必要です。)

●入学金(料)の限度額は100万円、入学支度金の限度額は20万円です。ただし、入学者が複数の場合は、入学支度金は20万円×人数となります。同一世帯に対する限度額は、入学金も含め120万円です。

利子と保証機関の保証料の全額補助

利子は市が全額補助します。無利子の融資になります。保証料については、保証を受けていただきます。その保証料についても、市が全額補助します。



▲制度について
(市公式サイト)

【問合せ】生涯学習総務課総務係(内線354)

児童・生徒の保護者の皆さんへ
学校給食費の納入を
お忘れなく

学校給食の食材料費は、保護者の皆さんに負担していただくことになっていきます。

給食費が未納になると、食材の購入に影響があります。

給食費は、口座振替で納付していただいています。残高不足などにより未納となってしまう場合もありますので、口座残高の確認をお願いします。

なお、未納の場合は学校から連絡がありますので、速やかにお支払いいただきますようお願いいたします。

給食費一覧(月額)

小学校	1・2年生…3,870円
	3・4年生…4,040円
	5・6年生…4,210円
中学校	全学年…4,750円

※引き落としの際には、別途手数料がかかります。

※各学校の食数により、3月分の金額は変わることがあります。



【問合せ】学校教育課学務係(内線358)

「郷土博物館」から

トピック

玉川上水をたどる②
拝島～小平監視所編

玉川上水ふせこし

玉川上水の水路には、1か所だけ川の下をくぐる場所があります。この場所は玉川上水に架かる稲荷橋(立川市一番町四丁目)から約140メートル下流で、瑞穂町の狭山池を起点とする残堀川と交差しています。玉川上水開削当初は、残堀川の水は玉川上水に合流していました。しかし、生活排水で残堀川の水質が悪化したため、明治時代に入ると玉川上水の水路の下をくぐって多摩川に流すように改修されました。昭和時代になると、残堀川の洪水対策として、玉川上水が残堀川の下をくぐるように改修されました。この時の工法を「ふせこし」と言います。

野火止用水

玉川上水の水路は、武蔵野台地を通過して江戸の町へ到達します。江戸時代以前の武蔵野台地は、水に乏しい土地のため人々が生活するには不向きでした。しかし玉川上水から分かれる水路(分水)が造られたことで、飲料水や農作物を育てるために必要な水を得ることができるようになりました。



※電子地形図(国土地理院)を加工して作成。

【問合せ】郷土博物館 ☎558-2561

教育相談室からのお知らせ

「はむらバーチャルサポートルーム」を開始しました

教育委員会では、東京都の不登校対策であるバーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業を活用し、インターネット上の仮想空間「はむらバーチャルサポートルーム」の運営を開始しました。

様々な要因で不登校や別室登校などの状態にある児童・生徒を対象に、仮想空間におけるコミュニケーションを通して人とつながる安心感を醸成する、新たな居場所と学びの場を提供します。

1 利用できる内容

- (1) 仮想空間における子供同士や支援員等とのチャット機能によるコミュニケーション
- (2) 自学自習用Web教材・プログラミング学習用教材

2 対象

- (1) 羽村市立学校に在籍する児童・生徒で在籍校や適応指導教室、フリースクール等に通うことができない児童・生徒
- (2) 羽村市適応指導教室ハーモニースクール・はむらを利用している児童・生徒
- (3) 在籍学級とは別の校内別室指導を利用している児童・生徒
- (4) スクールソーシャルワーカーから利用勧奨のある児童・生徒

3 利用方法

学校から貸与のタブレット端末、又は自宅のパソコンから利用できます。

4 申込方法

教育相談室係(内線369)、又は在籍する学校にお問い合わせください。



電話番号が変わります(令和6年10月1日から)

●教育相談室

旧番号 042-554-1223



新番号 090-1406-1223
090-5258-1223
(どちらでも可)

●子供の悩み 110 番

旧番号 042-554-1306



新番号 090-3274-7830

●適応指導教室

ハーモニースクール・はむら

旧番号 042-554-1331



新番号 090-3237-1331

【問合せ】教育相談室係(内線369)

教育随想

なぜ、人は学び続けるのか

本市では、平成24年(2012)7月に「羽村市生涯学習基本条例」を制定しました。その後、生涯学習施策を総合的・計画的に推進することにより、生涯学習社会の実現を目指しています。

ところで、人はなぜ学び続けるのでしょうか。

この根源的な問いを前にして脳裏に浮かぶのは、「自己実現」という用語です。

私は、「自己実現」を「自分の可能性を發揮しながら生きること」であると捉えています。自分の可能性を發揮し続けるには、人生の折々に自ら選択・決定した学びを続けていくことが重要です。いわゆる「主体的な学び」の継続です。

「主体的な学び」は、学習者が学ぶべき内容や方法を自分で決めます。思うようにいかないことが生じるため、試行錯誤は付き物です。

常に学ぶことに関心・意欲をもち、自分のキャリア形成と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学びを調整しながら次の学びへとつながっていく。こうした学びを支えるのが「自尊感情」であり、必要となるのが自らの学びを客観的に把握して認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力です。

全ての小・中学校で進めている「はむらの授業指針」に基づく授業づくり。その営みは、生涯学び続ける基盤づくりであることを、改めて認識しております。



教育長 儘田 文雄

特定非営利活動法人羽村市スポーツ協会及び羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化活動を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市スポーツ協会

TEL 555-11698

加盟団体の紹介①

～羽村市軟式野球連盟～

設立から64周年を迎えた羽村市軟式野球連盟は、現在25チームが加盟しています。最盛期は85チームが加盟し、当時は大会運営などで大変な苦勞がありました。しかし、近年は市内企業の移転や趣味の多様化により、加盟チームの減少が続いています。

そんな中でも野球に情熱を燃やし、活躍しているチームがあります。

「東京都市町村総合スポーツ大会」の第50回大会(2017年)の軟式野球競技の部では羽村市代表の「ペプスチーム」が優勝しました。第52回大会(2019年)でも、「日野自動車チーム」が準優勝と健闘しています。

また、東京都市町村軟式野球協会が主催する大会では、41年の歴史の中で羽村市代表のチームが優勝9回、準優勝4回的好成绩を収めています。

競技スポーツは、チームワークや競争の厳しさを学ぶことができ、何よりもスポーツと一緒に楽しめる「仲間」は代えがたい存在となります。

軟式野球に興味をもった方は、羽村市スポーツ協会まで御連絡ください。

みんなで一緒にスポーツを楽しみましょう！



▲ペプスチーム

羽村市文化協会

TEL 579-12772

■第101回サロンコンサート ～羽村フィルによる アンサンブル コンサート～

【日時】9月29日(日) 開場 11時30分 開演 正午(終演 12時45分予定)

【会場】プリモホールゆとろぎ 創作室1(入場無料・直接会場へ) 定員58人

【出演】羽村フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる、弦楽アンサンブル・木管五重奏・管弦楽アンサンブル他をお楽しみください。

【主催】羽村市文化協会 【共催】羽村市教育委員会、羽村市音楽連盟

■第55回羽村市文化祭 【期間】10月13日(日)～11月4日(月・祝)

開会式 10月13日(日) 小ホール			
展示発表			特別企画
10月16日(水)～20日(日)			10月13日(日)
10月23日(水)～27日(日)			
10月30日(水)～11月3日(日)			
ホール発表			文化講演会 「世界に広がる学びのまちづくり」 講師・澤野由紀子先生 (聖心女子大学教授)
10月19日(土)			合唱演奏
10月20日(日)			
10月26日(土)			10月19日(土)
10月27日(日)			「ふれあいステージ」 北杜市、邦楽アンサンブル
11月2日(土)			10月26日(土)
11月3日(日)			
体験教室			ランドセルチャリティー KUNITACHI BAND
			11月4日(月・祝) 東京ミッドウェスト吹奏楽団
10月27日(日)	ホール 部門	クラシックバレエ フラダンス、ウクレレ、詩吟	小・中学生習字及び俳句(一般市民)公募 〈応募方法〉応募用紙を9月1日(日)から9月20日(金)までに窓口にお持ちください。 (俳句のみ、ゆとろぎで指定用紙配布)
11月2日(土)		歌声喫茶、フラダンス、 マジック、フォークダンス	
* 展示部門は開催期間中の各展示会場で実施します。			

【主催】第55回羽村市文化祭実行委員会 【後援】羽村市・羽村市教育委員会・羽村市文化協会

INFORMATION

羽村市役所(代表) Tel 555-1111

プリモホールゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
プリモライブラリーはむら(図書館)	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
S&Dスポーツアリーナ羽村 (スポーツセンター)	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
S&Dスイミングプラザ羽村 (スイミングセンター)	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクールはむら	Tel 554-1331